


平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

みやこ町立犀川中学校

1 実践テーマ	【 II, V 】
2 実施対象者	みやこ町立犀川中学校 第3学年男子34人
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (体 育)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目 標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックに興味や関心を持ち学習をした上で、自分たちでオリンピック大会を開催する。プレイする人、見る人、サポートする人などスポーツに多様な関わり方をし、自分たちの力で試合を運営する。
5 取組内容	<p>プレイする人、支える人、見る人というスポーツに対する多様な関わり方で生徒が主体的に犀中オリンピックというサッカー大会を開催した。</p> <p>1 開会式 代表生徒による競技上の注意や選手宣誓など大会を安全に楽しく盛り上げようとする姿が見られた。</p> 

2 ウォーミングアップ

体育委員を中心に準備体操、ラダートレーニングでウォーミングアップを行った。



3 試合

試合をしていないチームは審判や本部、ボール拾い等全員が必ず何らかの仕事を行い試合の運営を行った。





4 閉会式

天候不良により、残りの試合と閉会式は後日行う。

6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツには、プレイする人・見る人・サポートする人という多様な関わり方があることを事前に学び犀中オリンピックを開催したことで、生徒一人一人が自己の役割に責任をもって取り組むことができていた。 ・犀中オリンピックを行う上で、気をつけなければいけない点や安全に行うための方法、試合を円滑に進めるための方法を考え、実践することができていた。 ・試合を通じて仲間と協力することや勝つための作戦、相手を尊重しフェアなプレイを心がけることを身に付けることができた。
7実践において工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ・開会式や試合の運営などすべて生徒が主体的に行えるようにした。 ・生徒が主体的に大会運営をすることで、プレイする人・見る人・サポートする人という関わり方を全員が経験することができた。 ・サッカーをする上で敏捷性は必要な体力要素の一つであり、細かなステップからダッシュをし、体を温めて試合に臨むためウォーミングアップでラダートレーニングを取り入れた。 ・サッカー部の生徒を中心にチームを編成し、力の差が出ないようにした。
8主な課題等	特になし。
9来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）についての学習。